

横浜市立新羽小学校 令和3年度 学力向上アクションプラン

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
わたしがかがやき みんながかがやく 新羽の子ども	主体的に学び生きる力

(2) 中期取組目標

中期取組目標
<p>○子ども一人ひとりを大切にしながら、まちとともに歩む学校にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが分かりやすい教科の学習、探究心を生かした総合的な学習のために、指導の工夫、改善、充実に努めます。 ・人間関係を深めるなかよし交流、音楽あふれる学校教育活動を通して、よさや違いを認め合える指導を行います。 ・小中9年間の見通しのもと、新羽中学校との連携をさらに深め、児童指導の充実、学力向上に努めます。 ・教育活動に保護者、地域、関係諸機関の力を取り入れ、学校運営協議会と共に開かれた学校の推進に努めます。

(3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
確かな学力	① 児童の興味関心や課題を把握し、児童の学習意欲を高めて、主体的に問題解決に取り組む子どもの育成を目指す。 ② 身近な学習材を取り上げ、地域の人材を活用した「社会に開かれた教育課程」を創造する。 ③ ICTを活用した教育活動を創造する。
担当	評価委員会

2 横浜市学力・学習状況調査等からの実態把握

1年	どの授業の時間も、意欲的に学習し、課題にもまじめに取り組む。学んだことを生活の中で生かそうとする姿勢が見られる。平仮名や数に関する知識については、個人差が大きい。人前で話すことが苦手な児童が多い。
2年	どの教科にも興味・関心をもち、進んで探求する。書かれている文の内容を理解したり、思いをもったりすることはできる。しかし、思いを文に表したり言葉で伝えたりすることは、苦手な児童が多い。算数では、基本を習得すると、それを生かして類似問題を解くことはできた。
3年	観点別に振り返ると、国語・算数どちらも思考力・判断力・表現力が低かった。算数では、答えを導き出す過程を筋道立てて表現できないことが多かった。国語では、目的や相手を意識したり、内容のまとまりで段落を作ったりして文章に表すことが難しかった。しかし、物語文では、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結びつけて具体的に想像できた。
4年	観点別に見ると、算数では数量や図形についての技能や数量や図形についての知識・理解する力は総じて高かったが、国語・算数どちらも思考力・判断力・表現力が低かった。問題文を読み取り、思考して説明するような問題が苦手な児童が多い。
5年	どの教科にも、めあてをもって意欲的に取り組むことができる。国語・算数では、学習課題をよく理解し、自分の考えを深めることができる児童がいる一方で、漢字の読み書きや基本的な計算の仕方が身につけていない児童も多く、個人差が大きい。しかし、国語の紹介文を書く学習には、相手を意識して粘り強く取り組み、要約したものに対する自分の思いを文章で表現することができた。
6年	興味をもつと意欲的に取り組むことができ、理解を深めていくことができる。学習に対する理解に個人差が大きく、特に国語と算数では顕著である。文のつながりを意識して表現したり、問題の意図を的確に捉えたりする能力に課題が見受けられる。

3 令和3年度 学年・教科等として育成を目指す具体的な資質・能力と具体的取組

	育成を目指す 具体化した資質・能力	具体的取組	
		前期	後期
1年	<ul style="list-style-type: none"> ◆好奇心 ◆自立的に考える力 ◆自分の言葉で表す力 	<ul style="list-style-type: none"> ○材を工夫したり体験的な活動を取り入れたりすることで、主体的に学習し基礎基本を身に付けられるようにする。 ○自分の考えや思いを自信をもって表現できるように、友だちに伝える場面を意図的に設ける。 	
2年		<ul style="list-style-type: none"> ○感じたことや思ったことを書いたり、書いたものを読み合ったりする機会を増やし、言葉で表現する力をつける。 ○友達の思いや考えに対して自分の思いを伝えることができるように、話し合い活動を多く取り入れる。 	
3年	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域を愛する気持ちを持ち、社会生活の中で協力する姿勢 ◆問題を理解し、解決に向けて試行錯誤する能力 ◆伝える内容を明確にする力 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の施設やそこで働く人に興味を持ち、進んで関わろうとすることができるように、地域に出でいく機会を多く作る。 ○自分の思いを伝える方法を身につけるために対話的活動を多く取り入れる。 	
4年		<ul style="list-style-type: none"> ○グループ活動の中で、お互いに相手の考えにも耳を傾け、問題の解決に向かって協力できるようにする。 ○文章を読んだり書いたりする中で、伝えたいことを明確にするための話型や文型にふれる。 	
5年	<ul style="list-style-type: none"> ◆観察力・洞察力 ◆自ら課題を見出す力 ◆伝え合うことで自分の考えを深化させる力 	<ul style="list-style-type: none"> ○自主学习を通して、自分の苦手を客観的に捉え、それぞれに合った学習の仕方を工夫して考えて、取り組むことで知識を確実に理解できるようにする。 ○話し合い活動を多く取り入れ、自分の考えを言葉で相手に伝えようとする意欲を高められるようにする。 	
6年		<ul style="list-style-type: none"> ○実生活と結びつけ、自分事として考えられるように、導入や授業展開を工夫する。 ○学級での活動や委員会活動などを生かして、自分と周りとの関係を捉え、目的に応じて適切に表現したり、伝えたりすることができるようにする。 	
個別支援学級	<ul style="list-style-type: none"> ◆自分の言葉で表す力 ◆伝える内容を明確にする力 ◆自ら課題を見出す力 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分たちで考え、作り上げる活動を意図的に取り入れ、自分の意見を持つ、自分の意見を発信する、友達の意見を受け入れる経験を数多くさせる。 ○個に応じた学習、小集団での学習、学級全体での学習と、学習グループを工夫することで、自分の思いを安心して伝えられる環境を作る。 	